



大好き かたびら

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/katabira>

横浜市立帷子小学校
学校だよりNo2 5月号
平成30年4月27日
横浜市保土ヶ谷区
川辺町65-1
Tel045-335-5896

多様性を受け入れる

校長 齋藤容二

初夏を思わせる陽気の中、ツツジやハナミズキなどが色鮮やかにまちを彩っています。日頃より本校教育活動へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。おかげさまで、新年度が始まってから1か月、子どもたちは新たな学年・学級の中で友達づくり、学習、係活動、委員会活動など、一人ひとりが自分の立てためあてに向かい元気に取り組んでいます。

「帷子小学校の子どもたちや保護者、地域の方はすごい。」

着任してからの1か月の中で、いくつも感じるがありました。

- ・朝、私や他の職員が校門で迎えているとき、進んで挨拶をする子どもたちが大勢いること。
- ・教室移動の際、静かに廊下に並び、整然と歩いていること。
- ・授業中、教師の話をしっかりと聞き、発言の際は積極的に挙手をする子が大勢いること。
- ・掃除のとき、廊下を隅々まで一生懸命に雑巾がけをしている子がいること。
- ・集会や授業の中で、子どもたちが英語の挨拶や歌を自然に表現していること。
- ・毎朝、PTAや地域の方が子どもたちの安全のために旗振りをしてくださっていること。

「当たり前のことではないか」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、その当たり前のことを継続して行えるようにすることは、とても難しいことです。これまでの帷子小学校での取組やかかわってきた方々の努力によって、今の帷子小学校の子どもたちの姿があり、よい風土・文化として育ってきているのだと思います。

私が「帷子小はすごい」と強く感じたことがもう一点あります。ある学級の子どもたち数名が校長室を訪ねてきたときのことで、子どもたちの名前を覚えたいので、一人ずつ名前を聞いたところ、

「ぼくは〇〇、～人なんだよ。」

と答えた子がいたのです。外国籍であることを自然に伝え、回りの子どもたちも自然にそのことを受け入れていることに、強い感動を覚えました。

違うことにはそれぞれ意味やよさがあります。今の時期に咲く花々と春先に咲くサクラとでは、どちらが優れているのでしょうか。必要性や好みにより、重要視する花、草木があるかもしれませんが、それぞれの種そのものの優劣はないはずです。もし、ある時期にだけ、ある1種類の花しか咲かないとしたら、どうなってしまうのでしょうか。違うことにこそ意味があると言えるのでしょうか。社会のニュースや教育に関する情報の中には、自分たちと違うことを理由に相手を攻撃したり排除したりする心を痛める出来事が多くありますが、違いを受け止め、認め合い、一緒に生活することが当たり前になっている帷子小学校の子どもたちの柔らかな心、それを育ててきた学校風土をこれからも大切にしていかなければいけない、と強く感じました。

子どもたちの育ちがよりよいものとなるよう、我々大人は責任の重さをしっかりと認識し、情報を共有し、改善を図りながら努めていきます。今月もご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【お知らせとお願い】 校庭遊具に不具合が見つかり、現在使用できない状態となっています。大規模な修理となることが予想されますが、まだ工程ははっきりしていない状況です。今後、工程がわかり次第お伝えしていきます。ご不便、ご迷惑をおかけしますが、どうぞご理解ください。